

財政健全化判断比率

区 分	花巻市・6年度 (カッコ内は5年度)	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率	(― パーセント)	11.86パーセント	20パーセント
連結実質赤字比率	(― パーセント)	16.86パーセント	30パーセント
実質公債費比率	9.2パーセント (8.7パーセント)	25パーセント	35パーセント
将来負担比率	50.6パーセント (44.4パーセント)	350パーセント	

資金不足比率

会計名	花巻市・6年度 (カッコ内は5年度)	経営健全化 基準
公設地方卸売市場事業	(― パーセント)	20パーセント
産業団地事業	(― パーセント)	20パーセント

注1…表中、各基準は国が示した数値です

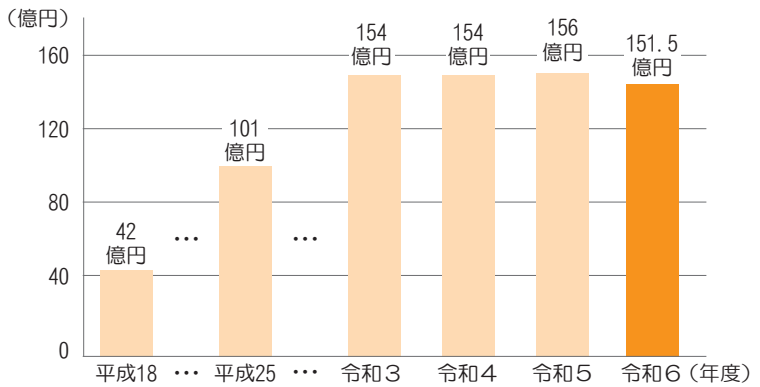
注2…赤字額、資金不足がない場合は、「―」で表しています

【用語解説】

▶実質赤字比率／普通会計(一般会計など)の赤字比率▶連結実質赤字比率／市の全ての会計(普通会計・特別会計・公営企業会計)を含めた赤字比率▶実質公債費比率／市の全ての会計に一部事務組合などの会計を含めたもので、公債費の財政負担を見るための比率▶将来負担比率／市の全ての会計と一部事務組合などの会計に第3セクターなどの会計を含めたもので、普通会計が将来、財政負担する実質的な負債(借入金残高など)を見るための比率▶資金不足比率／特別会計などの事業の規模に対する資金不足額の比率

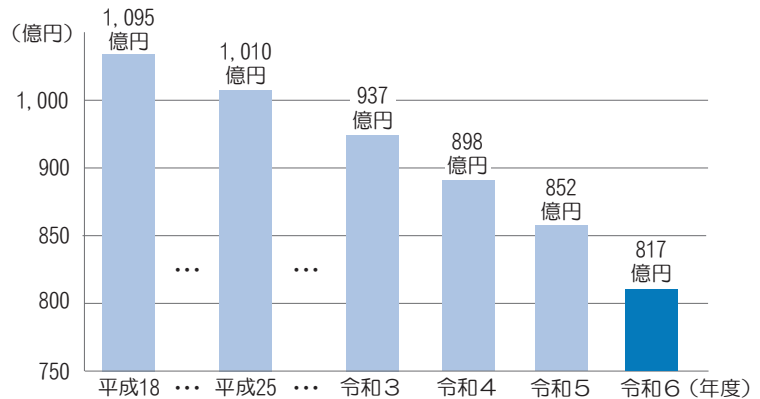
主な一般会計の基金(貯金)の年度末現在高の推移

※財政調整・減債・まちづくり・ふるさと納税基金の合計額



市債(借金)現在高の推移

※一般会計と一般会計以外[下水道事業会計および特別会計(公設地方卸売市場事業)]の合計額



財政状況が良好かどうかを示す指標に、財政健全化判断比率(4分類)と資金不足比率があります。国が示すこの指標の判断基準により、市の財政が▼健全団体▼早期健全化団体(要注意状態)▼財政再生団体(破たん状態)―のいずれの状態にあるか、また各会計の経営がどのような状態になっているのかを判断す

本市の財政状況
「健全化基準を全てクリア」

ることができま。この指標のうち一つでも基準値以上になった場合は、それぞれ法で定められた計画の策定を行い、財政の健全化に向け取り組んでいく必要があります。本市では、基準値を超える項目はなく、財政状況は健全ですが、今後もしも引き続き無駄のない財政運営に努め、一層の財政の健全化に取り組んでいきます。

令和6年度の特別会計決算の総括表

(単位:万円)

会計名	歳入	歳出	差引残額
国民健康保険	87億7,492	87億7,367	125
後期高齢者医療	24億5,645	24億5,374	271
介護保険	111億5,281	110億2,117	1億3,164
公設地方卸売市場事業	1億5,784	1億5,664	120
産業団地事業	8億3,080	7億5,129	7,951
合 計	233億7,282	231億5,650	2億1,632

特別会計の決算

特別会計は、特定の目的のために保険料や使用料などの特定の収入で運営していく事業の会計です。お金の出し入れをはっきりさせるため、一般会計とは別に管理しています。本市には▼国民健康保険▼後期高齢者医療▼介護保険▼公設地方卸売市場事業▼産業団地事業―の五つの特別会計があり、それぞれの会計で決算が行われています。

■国民健康保険

加入者が納める国民健康保険税や県からの交付金などを主な財源とし、医療給付や特定健康診査などの保健事業を実施し、生活習慣病の予防や早期治療などに取り組みました。

■後期高齢者医療

後期高齢者医療保険料や市の負担金を主な財源として、各種申請や届け出の受け付け、保険料の徴収などを行いました(事務は、運営主体である岩手県後期高齢者医療広域連合と分担しています)。

■介護保険

介護保険料や国・県市の負担金などを主な財源として、介護給付や介護予防の支援、地域における日常生活の支援体制づくりなどに取り組みました。

■公設地方卸売市場事業

施設使用料や売上高に応じた使用料を主な財源として、公設地方卸売市場を運営しました。

■産業団地事業

分譲収入や一般会計からの繰入金などを主な財源とし、造成工事や上下水道工事を実施したほか、実施設計や用地買収、各種測量調査などを行いました。

公営企業会計

(下水道事業)の決算

公営企業会計とは、特別会計の中でも複式簿記により経理を行う会計で、本市では、下水道事業がこれに該当します。▼公共下水道事業▼農業集落排水事業▼戸別浄化槽事業―を一体的に管理しています。

■公共下水道事業

下水道使用料と一般会計からの負担金を主な財源として、公共下水道の維持管理を行いました。また、国庫補助金や企業債(借入金)などを主な財源として、施設の長寿命化を行いました。

長寿命化対策については、「花巻市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、大迫浄化センターや東和浄化センターの電気設備、高田排水ポンプ場の機械・電気設備の改築更新を実施しました。

また、老朽化した管路やマンホールポンプ、鉄蓋の更新・交換などを行いました。

■農業集落排水事業

農業集落排水施設使用料と一般会計からの負担金を主な財源として、農業集落排水施設の維持管理を行っ

基金(貯金)と市債(借金)の状況
「借金が減少しました」

■基金(貯金)について

本市の一般会計の主な基金(貯金)〔財政調整基金、減債基金、まちづくり基金、ふるさと納税基金〕の令和6年度末現在高は、151.5億円です。

■市債(借金)について

本市の市債(借金)の令和6年度末現在高は前年度末と比べ、およそ

たほか、県補助金や企業債を主な財源として、施設の長寿命化を行いました。

長寿命化対策については、「花巻市農業集落排水施設最適整備構想」に基づき、猪鼻地区、熊野地区、長根地区の機能強化工事を行いました。

■戸別浄化槽事業

1222基の戸別浄化槽の維持管理を行いました。

令和6年度の公営企業会計決算の状況

(単位:万円)

項目		公共下水道	農業集落排水	戸別浄化槽	合計
収益的収支 (税抜き)	収入	23億3,784	8億4,847	1億4,949	33億3,580
	支出	22億6,045	8億7,018	1億9,014	33億2,077
	純利益	7,739	△2,171	△4,065	1,503
資本的収支 (税込み)	収入	14億3,235	8億1,678	45	22億4,958
	支出	23億5,093	10億8,277	3,744	34億7,114
	留保資金補てん額	9億1,858	2億6,599	3,699	12億2,156